



バグダッドLO日々業務報告(6月16日1830)

区 分	内 容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [REDACTED] バグダッド及びモスルは [REDACTED] ラマディは [REDACTED]
2 特記事項	な し
3 本日の業務	(1) 情報収集及び連絡調整 (2) SNR報告及びCOA報告 (3) 大使館員送迎に伴う無線傍受変換
4 明日の予定	(1) 情報収集及び連絡調整 (2) COA調整会議
5 その他(備考)	

## バグダッド日誌(6月15日)

### ○ サマーワ訪問(その2)

バグダッドからブラックホークに揺られること1時間半、我が日本隊主力がいるサマーワに到着できた。宿営地にはわずか3時間しか滞在できなかったが、幹長、隊長そしてなつかしい方々にも多数お会いできて本当に有意義だった。特に貸切の露天風呂につかってサマーワの抜けるような青空を見たときは、6ヶ月に及ぶ疲れも吹っ飛んで、残りの期間を主力の安全に資するために全力で頑張ろうとの活力を得ることができた。本当にありがとうございました。

### ○ 「入浴・食事」特別コース

訪問間、最も感銘を受けたのは、やはり入浴。「貸切 [REDACTED] 御一行様」の看板のある露天風呂。群の需品班の方が嫌な顔ひとつせず準備してくれていた。(残念ながら階級氏名を聞こうとしたが入浴後に姿は見えず。) 椅子に洗面器、シャンプーが準備しており、先ず感動。座って身体を洗ったことに感激、開放感溢れる露天風呂に感無量でした。身体芯から暖まる心地よさ、狭いシャワー室とは違うこの開放感にはイラクに来て以来初めて無邪気に笑いがこみ上げてきました。2名共10秒に1回のペースで「最高だ!」と言葉を発していました。風呂上がりの昼食には焼フライとエビフライ。イラクの地で食したこの日本料理の感動は一生忘れないことでしょう。心と体の疲れを癒す日本式風呂、身体に活力を与える日本食、心を落ち着かせる和風美人による茶会には、戦力回復に優る精神衛生的効果を感じました。

### ○ ブラックホーク遊覧飛行

最下級幹部の私は最後にヘリに乗り込む。空いている席は最後列最右翼、右前方に窓枠があり進行方向の景色が一望できる最高の席だ! と一瞬思った。しかし、イタリアの看護員が何故かゴーグルを貸してくれる。若干理解不明であったがイタリア人の優しさと解釈。然し、危険するやいなやその意味を理解した。窓のシールドがないのである。高速走行中の車両から顔を出している状態を想像していただきたい。顔の肉は後方に突っ張られ、右の鼻穴から入った強風は左の鼻穴に抜ける。よだれと鼻水は瞬時に耳まで飛んでいき、ゴーグルの右目割は食い込み、空気の入り込む左割は涙で一杯になった。快晴の中での折角の遊覧飛行は景色もまともに見えず苦痛の1時間半であった。夏のヘリには窓のシールドがないようだ。